



CAM SHAFT 取扱説明書

商品番号 : 01 08 0008
適応車種 : CUB110
フレーム番号: JA07 1000001~

この度は、当社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
ご使用につきましては、説明書をよくお読みになって、指示を必ず守りご理解の上でご使用下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

特 徴

ノーマルエンジンに取り付けるだけで中、高速域の出力がアップします。
また、当社製マフラーを取り付ける事により更なる出力アップが可能です。
純正と同じくデコンプレッションを装備していますので軽いキック力でエンジン始動が可能です。

！空燃比についてのご注意！

当社製ボンバーマフラーと同時に使用されますと空燃比が適正值とならず、エンジン破損の可能性があります。必ず当社製 F I . C O N を同時に装着して下さい。

注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。
(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・点検、整備は、定期的に行って下さい。
(点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。
(損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。)

警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では行わないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、エンジンを安定させ、安全に作業を行って下さい。
(不安定な状態での作業は、エンジン等が倒れてケガをする恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

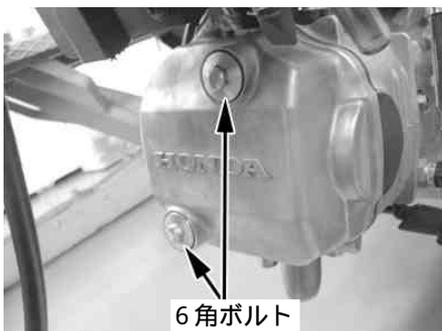
～ 商 品 内 容 ～



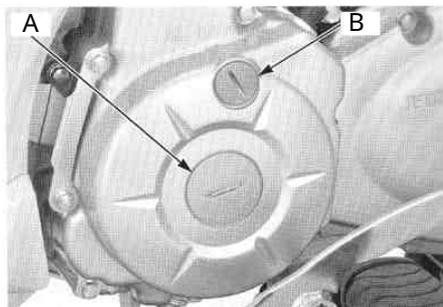
品 名	個数
カムシャフトCOMP.	1

～取り付け要領～

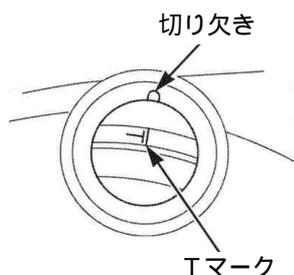
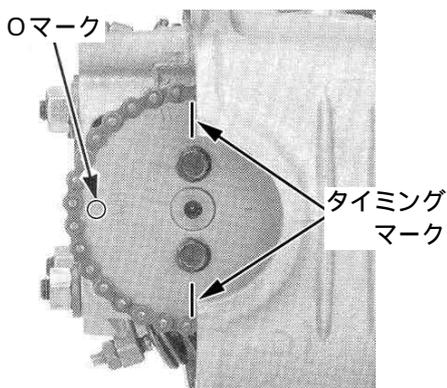
シリンダーヘッドカバーを取り外す
6角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。



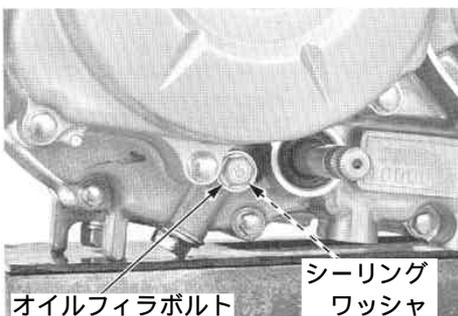
クランクケース左カバー取り外す
A、Bの2つのホールキャップを反時計回りに回して外す。



カムプロケットを取り外す
フライホイールのTマークとカムプロケットのOマークを前方に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。

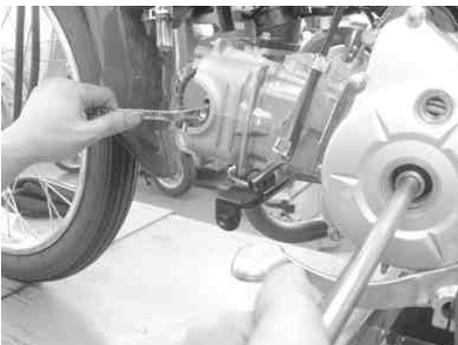


チェンジベダルシャフトの横にあるオイルフィラボルトを取り外す。
(カムチェーンテンショナーが緩むのでカムチェーンが取り付け易くなります。)

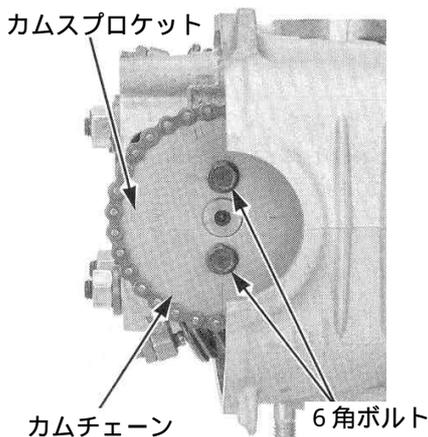


少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取って下さい。

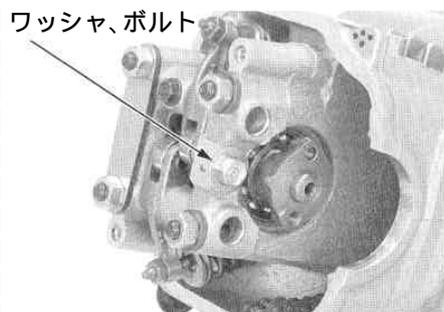
フライホイールを固定しカムプロケット6角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。



カムプロケットをカムシャフトから外す。
カムチェーンをカムプロケットから外してカムプロケットを取り出す。

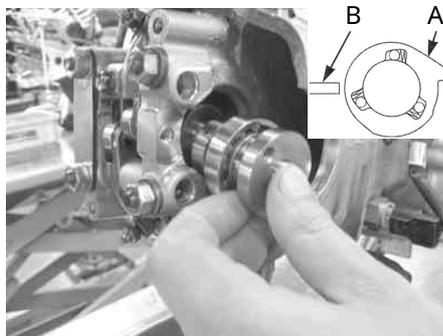


シリンダーヘッドよりワッシャ、ボルト、カムシャフトを取り外す。
カムシャフトの取り外し、取り付けが出来無い場合はシリンダーヘッドナット4つを緩める事で取り外し、取り付け出来ますが、その場合はヘッドガスケットの交換が必要になります。

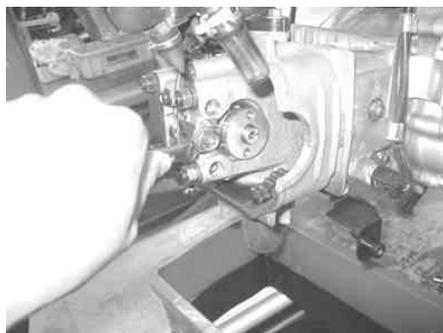


カムシャフトを取り付ける

キットのカムシャフトを取り付ける。
カムシャフト・カムシャフトベアリング・デコンプレッショナーにきれいなエンジンオイルを塗布し、カム山を燃焼室に向けた状態でシリンダーヘッドに取り付ける。
入り難い場合でもハンマー等は使用しない事。
デコンプレッションカムの突起「A」をプランジャ「B」に当たらない位置にして取り付ける事。



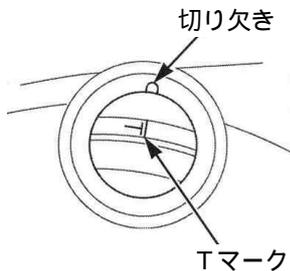
取り外したワッシャ、ボルトを取り付ける。
ストッパープレートボルト
12 N・m (1.2 kgf・m)



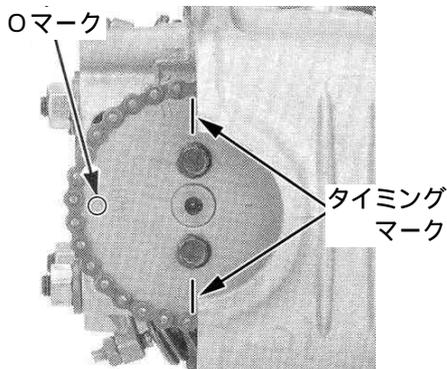
カムプロケットの取り付け

フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせ、ピストンを圧縮上死点に合わせる。

カムプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。



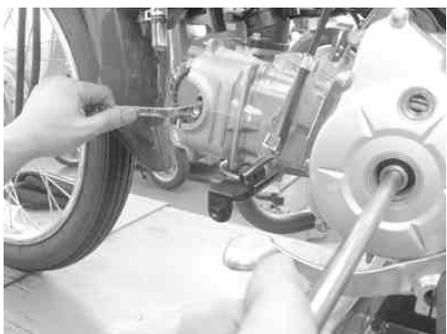
カムプロケットの'O'マークを前方方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッドカバー合わせ面に合わせ、カムチェーンをかける。



フライホイールを固定してカムプロケットボルトを2本締め付ける。

締め付けトルク

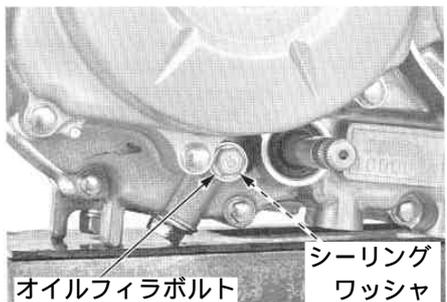
$9\text{ N}\cdot\text{m} (0.9\text{ kgf}\cdot\text{m})$



チェンジペダルシャフトの横に先程外したオイルフィラボルトを取り付け、締め付ける。

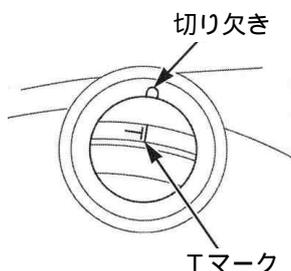
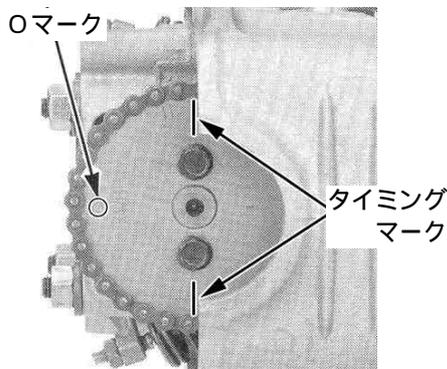
締め付けトルク

$10\text{ N}\cdot\text{m} (1.0\text{ kgf}\cdot\text{m})$



バルブタイミング調整とタペット隙間の調整

クランクシャフトを反時計回りに2回転し、フライホイールのTマークとケースの切り欠き部とタイミングスプロケットマークが前方を向いた状態で合わせマークが合っているかを確認する。



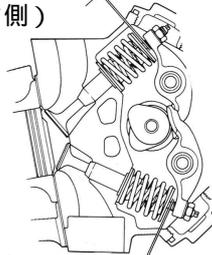
ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいき、タペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間にシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。

$\text{IN/EX} : 0.10 \pm 0.02\text{ mm}$

タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転回した後でTマークとOマークタイミングマークを合わせる。

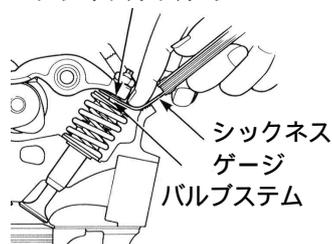
タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。

バルブクリアランス (インテーク側)

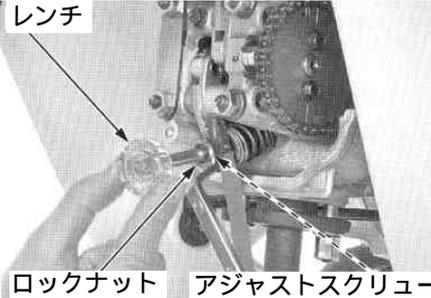


バルブクリアランス (エキゾースト側)

アジャストスクリュー



タペットアジャスト



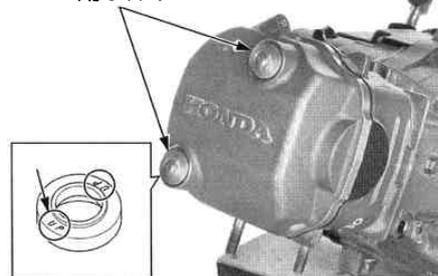
シリンダーヘッドカバーを取り付ける

6角ボルト2本を締め付ける。

締め付けトルク

$10\text{ N}\cdot\text{m} (1.0\text{ kgf}\cdot\text{m})$

6角ボルト



UP文字をボルトのフランジに向けて取り付ける事。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>